

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	産業廃棄物処理業優良化推進事業費	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	産業廃棄物課	産業廃棄物課長 廣木雅史			
会計区分	一般会計	施策名	4-4 産業廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第14条第5項(産業廃棄物処理業)等	関係する計画、通知等	企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針(平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年7月の犯罪対策閣僚会議で了承された「企業指針」の産業廃棄物処理業界における認知度は十分とは言えず、また、暴力団等の不当介入は未だに見られることから、産業廃棄物処理業界に介入する暴力団等反社会的勢力を徹底的に排除し、その資金源を絶つとともに、健全かつクリーンな産業廃棄物処理業界の構築を目指すことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	犯罪対策閣僚会議における「犯罪に強い社会の実現のための行動計画」を踏まえ、環境省においては、「暴力団の不当要求等介入事例集」を作成・配布するなど、「企業指針」の普及啓発、事例の効果的活用を促進し、平成22年度には、産業廃棄物の処理業者及び行政担当者等を対象に、「企業指針」の普及啓発及び現場対応能力の向上を図るため、民事暴力対策担当弁護士及び警察庁暴力団排除対策官による暴力団排除対策のための講習会を3回(札幌、神戸、北九州)、171人に対して開催し、23年度も3回(横浜、名古屋、広島)開催予定であるが、平成22年12月開催の犯罪対策閣僚会議において、「企業指針」の更なる普及啓発をはじめとする企業活動からの暴力団排除について、迅速かつ適切に実施するとされたことを踏まえ、講習会を継続的に開催して産業廃棄物処理業界からの暴力団排除気運をさらに高め、その徹底的な排除による健全かつクリーンな産業廃棄物処理業界の構築を図るものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	33	6	5
		補正予算	—	—	0	0	
		繰越し等	—	—	0	0	
		計	—	—	33	6	5
	執行額	—	—	34			
執行率(%)	—	—	103%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	企業指針の認知と実践及び暴力団排除については、100%達成が究極の目標となるが、定量的に表見するものではないことから、成果実績として定量化することになじまない。	成果実績					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	講習会開催数・参加者数	活動実績 (当初見込み)	回・人			3回 計171人 (3回 計300人)	— (3回 計300人)
単位当たり コスト	742(千円/回)	算出根拠	単位当たりコスト = 2,226千円(執行額) / 3回(講習会開催数)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	6	5	事業内容等の見直し			
	計	6	5				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年12月開催の犯罪対策閣僚会議において、政府の取組として関係業界に対する「企業指針」の更なる普及啓発をはじめとする企業活動からの暴力団排除について、迅速かつ適切に実施するとされた。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により競争性を確保するとともに、コスト削減に配慮し、減額措置を講じた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	廃棄物処理法に暴力団排除条項が規定されるなど、法を所管する環境省として暴力団対策には先進的に取り組んでおり、優良な産廃処理業者を育成する上においても講習会開催に大きな意義がある。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>産業廃棄物処理業界は、暴力団等反社会的勢力にとって有力な資金源と目され、業界に深く浸透しようとする巧妙かつ活発な動きが想定されているところである。このような情勢の中、平成22年12月に開催された犯罪対策閣僚会議において、政府の取組として関係業界に対する「企業指針」の更なる普及啓発をはじめとする企業活動からの暴力団排除について、迅速かつ適切に実施するとされたことを踏まえ、継続的に講習会を開催して産業廃棄物処理業界からの暴力団排除気運をさらに高め、その徹底的な排除による健全かつクリーンな産業廃棄物処理業界の構築を図る必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	過去の実績等を分析し、事業内容を見直すことで、予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
講習会や研修会の事業内容を見直すことにより、概算要求額を減額。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

環境省  
33百万円

本事業が滞りなく確実かつ効果的に実施され、  
実効が上がるよう請負者を管理・監督

【一般競争入札】

A. (株)オーエムシー  
2百万円

- ①産業廃棄物の処理業者及び行政担当者を対象とした暴力団排除対策に係る講演会を開催
- ②「暴力団等反社会的勢力からの不当介入

【随意契約】

B. (財)産業廃棄物処理事業振興財団  
32百万円

産業廃棄物処理業優良化推進事業

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて  
補足する)(単位:  
百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A. (株)オーエムシー			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	講演会開催、事例集作成など	2			
計		2	計		0
B.(財)産業廃棄物処理事業振興財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	産業廃棄物処理業優良化推進事業	32			
計		32	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(株)オーエムシー	暴力団排除対策講演会の開催、不当介入事例集の作成等	2	4	36%
2	(財)産業廃棄物処理事業振興財団	産業廃棄物処理業優良化推進事業	32	随意契約	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					